

農業センサス結果(令和2年)

農業センサスは、我が国の農業行政に係る諸施策及び農業に関して行う諸統計調査に必要な基礎資料を整理することを目的として、5年ごとに2月1日現在で実施されている。

今回調査対象となった農家は、経営耕地面積が10a以上または調査期日前1年間に於ける農業生産物の総販売額が15万円以上のものである。

4. 専業及び兼業農家数

年 次	総農家数	専業	兼業	農家率
昭和40年	2,932	490	2,442	28.5
昭和45年	2,862	370	2,492	25.2
昭和50年	2,725	255	2,470	23.2
昭和55年	2,522	311	2,211	20.8
昭和60年	2,392	265	2,127	19.9
平成 2年	2,002	309	1,693	16.8
平成 7年	1,805	262	1,543	15.2
平成 12年	1,276	249	1,027	10.5
平成 17年	1,055	258	797	8.7
平成 22年	918	285	633	7.3
平成 27年	743	259	484	5.8
令和2年	493	196	297	3.8

(注)農家率＝総農家数÷国勢調査の世帯数×100

(注)令和2年より専業は主業及び準主業数、兼業数は副業数

5. 農産物販売金額1位の部門別農家数

計	稲作	麦類作	雑穀・豆類・いも類・	工芸農作物	露地野菜	施設野菜	果樹類	花き・花木	その他の作物	酪農	肉用牛	養豚	養鶏	その他の畜産
508	296	20	7	-	1	159	6	6	10	1	1	-	1	-

(注)販売農家(30a以上かつ50万円以上)のみ集計。